

令和2年10月

公益社団法人浦安青年会議所

2021年度理事長所信（案）

スローガン

「率先励行～未来のために覚悟をもって～」

氏名 堀木 修吾

【はじめに】

1981年9月、私はこの世に生まれ、浦安青年会議所と同じ年を重ねてまいりました。幼少時代からサッカーに夢中になり、時間があれば外でひたすらボールを追いかける日々を過ごしました。部活に明け暮れる毎日でしたが、母親の勧めで中学校一年生の夏に参加した浦安市主催の「少年少女洋上研修」にて、市内の小・中学生、約150人が大型フェリーを利用した、4泊5日の行程で、洋上での生活と研修の場を体験することとなりました。それは人間形成に必要な心の豊かさやたくましさ、さらに異年齢間での集団生活を通して友情と連帯感をはぐくみ、次代を担う青少年の健全育成を図ることを目的とした事業でした。これをきっかけに、「浦安市リーダーズクラブ」という、リーダーの育成を目的としたボランティア団体にも入会しましたが、それが私の人生のターニングポイントでした。そこで出会った仲間との影響で、学級委員長や部活のキャプテン、小さなところで言えば合唱祭の指揮者など、あらゆる場面でリーダーとして活動していました。もちろん、必ずしもすべての物事が簡単に進むわけにもいかず、都度立ちはだかる困難がありましたが、そこで、悩み、考え、手を取り合いながら乗り越えてきたことが、自ずとリーダーとして根幹にあるべきものを自分の中に形成していったと自負しております。成人を迎え、様々な社会経験を積む中で、縁あって「浦安市消防団」に入団することになり、その活動を通して自分の住むまちのことを真剣に考えることになりました。また、多くの方々をつながることで、自分の知らなかった浦安も知ることになり、一層浦安を好きになり、浦安のためになることを考え続け、率先して行動に移してきました。ただ受け身で過ごしていた生活では絶対に体験することの出来ない経験を積み重ね、気がつけば14年もの歳月が流れ、役職も経験し、この先の自分のステップアップを考えた時に、この浦安青年会議所の存在を知ることとなりました。

2016年1月より、浦安青年会議所の一員となり、志高い同年代の人達と浦安をよりよいまちにしていくための運動をする中で、一つの気づきがありま

36 した。長年浦安の「ために」活動していましたが、青年会議所では浦安を「よ
37 りよく変える」運動をおこなっていました。活動と運動の違いに気づき、現状
38 を知り、よりよくするためにはどうすればいいのかなど考えたこともなかった
39 自分は、浦安の過去を調べ、現状を知り、浦安市民に何を求められているの
40 か、様々な役職を経験しながら、明るい豊かな浦安の創造に向けた青年会議所
41 運動を展開して参りました。

42 浦安は1889年、堀江・猫実・当代島の3村が合併し浦安村が誕生。13
43 0年余りの歴史があり、かつては陸の孤島と呼ばれた漁師町でしたが、度重なる
44 埋め立て事業を経て、現在では首都圏屈指の住宅都市、そして世界的に有名な
45 テーマパークを擁するアーバンリゾートのまちとして、著しい成長を遂げて
46 きました。また、2016年には日本全国813市区中、財政力指数首位を記録
47 するなど、豊かな財源のおかげもあり、市民サービスの充実が図られ、住み
48 やすいまち浦安の知名度は全国区へとひろがってまいりました。しかしなが
49 ら、全国的に人口減少・少子高齢化など社会環境が大きく変化する中、浦安市
50 も高齢化が進展するなど人口構造の変化や、時代によって今までとは違ったア
51 プローチの仕方が必須になってきます。それに加え、新型コロナウイルス感染症
52 (COVIT-19)の影響により、「新しい生活様式」を求められ、今ま
53 で普通に過ごしていた生活が当たり前ではなくなることで、ひとり一人の価値
54 観が変化していくなか、今後どのような運動が求められるかをしっかりと見極
55 め、「よりよく変化させる」ことが我々浦安青年会議所の使命であると考えま
56 す。そして、これからの浦安の未来を担う子どもたちにも対しても、現状の問題
57 をしっかりと調査し、解決のための運動をおこなっていくことで、明るい豊
58 かな浦安の実現へと一歩近づくと考えます。

59 昨年は浦安青年会議所にとって設立40周年という記念すべき年ではありま
60 したが、世界が未曾有の事態に見舞われ、緊急事態宣言が発令されるなどし、
61 思い通りの運動が出来ずに、悔しい思いをしました。しかし、それでも私たち
62 は前に進まなくてはなりません。こんな時だからこそ、私が率先してメンバー
63 に背中をみせ、浦安青年会議所を牽引していかなくてはならないという気持ち
64 が芽生えました。

65 私が掲げたスローガン「率先励行」とは、人の先頭に立ち、物事に対して懸
66 命に励むことを意味します。委員会などの組織運営の中で「誰かがやってくれ
67 るから、自分には関係無い」と無関心な様子を時折目にしますが、その姿勢に
68 拍車がかかった未来に明るい光りは差し込まないと強く感じます。組織の弱体
69 化は人材不足だけではなく、人材の成長不足が招いているのではないでしょう
70 か。片手間で出来るほど、青年会議所の活動は甘くありません。本業が忙しい
71 傍ら、本気で汗をかいて、熱い議論を重ね、切磋琢磨しながらメンバーと向き
72 合うことこそが、浦安青年会議所に入会している意味だと思えます。浦安青年
73 会議所に入会しなかったら出会うこともなかった仲間や地域、他業種とのつな
74 がり。浦安のみならず、千葉県内や関東、日本全国やアジア、はたまた世界へ

75 と、青年会議所のバッジと名刺があれば、誰とでもつながることができるこの
76 組織に誇りを持ち、平等に与えられる成長の機会をつかみ取りましょう。

77 そして成長した私たちが、浦安の未来に向けてなにができるかを本気で考
78 え、まちづくりの先頭にたち、失敗をおそれずに率先して行動することで、光
79 り輝く浦安を創造してまいります。

80

81 【時代の変化に特化した組織運営】

82 時代や環境が変わる時、人や組織もまた変わらなければ存続することはでき
83 ません。私たち浦安青年会議所は、単年度制の特色を活かし、信条を変えるこ
84 となく、事業や組織のかたちを変えることで、時代の変化に合わせて、運動す
85 ることができます。長年紡いできた組織運営を基礎としながらも、良かったも
86 のは取り入れ、改善する点は躊躇無く改善することで、一歩ずつ成長すること
87 につながります。時代の流れを見ている、昔は何も問題とされなかったこと
88 が今は大きな問題と認識され、今まで通用していた常識が非常識に変わるこ
89 ともあるでしょう。そういった時代の中で、私たち浦安青年会議所も大きく変わ
90 る転換期にきていると考えます。メンバーには仕事、家庭がありそれに要する
91 時間があります。それぞれが限られた時間の中で活動するには、今までと同じ
92 ではなく、今までの運営方法を見直し、組織を進化させていかなければなりま
93 せん。今の時代に合った柔軟で多様性をもった組織に変革することが必要で
94 す。

95 2020年、世界を未曾有の事態へと陥れた新型コロナウイルス感染症（C
96 OVID-19）の影響で、私たち浦安青年会議所にとってもWeb会議の導
97 入や委員会運営の変化、非対面での事業など、感染拡大の観点から、新しい活
98 動スタイルを余儀なくされていきました。現在では新しい生活様式により、ウイ
99 ルスと共存しながら社会活動を再開しているこの現状下、今まで当たり前だっ
100 た事が当たり前ではなくなったことを認め、新しい考え方を備えることが必要
101 になりました。今やらなければならないことを考え、本当に必要なものに時間
102 を使い、メンバーがより活動しやすい組織へ変わらなければならないと考えま
103 す。新しい組織の秩序を築いていく中でも、注意すべき点があります。ルー
104 ルや約束の中で定められた期日を守ることは社会人としての常識でありなが
105 ら、現状では青年会議所の活動自体が仕事でないというところから疎かになっ
106 てしまうところもあります。そのことは互いの信頼を損ね、負の悪循環への始
107 まりとなりかねません。何事にも期日があり、その期日に向かって計画性を持
108 って行動します。期日を守ることは時間を有意義に使うことにつながり、時間
109 と心に余裕ができることで、互いに信じあえる人間関係を構築することとな
110 り、組織力が昇華されていくと信じ、メンバー一人ひとりが率先して行動しま
111 しょう。

112

113 【信念を持った会員拡大と交流】

114 私たち浦安青年会議所が運動を展開していくには、運動を共にする仲間の存在
115 が必要不可欠であり、組織の拡大を成功させ、団体としての規模を高めてい
116 かなければなりません。そのためにやらなくてはならないことを考え、率先し
117 て行動に移さなければ、現状は何一つ変化しませんし、悪化の一途を辿る他あ
118 りません。近年、拡大に対して行動をしてこなかったわけではありませんが、
119 私たち青年会議所メンバーが自ら率先して真剣に会員拡大を行っていないこと
120 が大きな原因なのかもしれません。まずは拡大方法について検証するところか
121 ら始めます。今まで行ってきた拡大の方法を見直し、総括する事で、新たな拡
122 大方法を見いだせるはずと考えます。拡大の仕方がわからない、拡大対象者が
123 みつからない、誰かがやってくれるだろうと、どこか他人任せになっているの
124 ではないでしょうか。今年みんなで拡大を成功させなければ、近い将来、浦安
125 青年会議所の存続に関わってきます。浦安青年会議所が素晴らしいまちづくり
126 団体、そして最高の仲間が集い、ひとつづくり団体として自己成長できる場だと
127 確信を持ち、運動しつづければ、必ず結果がついてくるはずです。

128 拡大運動はメンバー一人ひとりが拡大の重要性を認識し、多くの手法を用い
129 るとともに、情報交換や情報共有が必要となります。その情報をもとに定期的
130 に拡大対象者を迎え、浦安青年会議所を知ってもらう場を創出し、我々の活動
131 を理解してもらうことが大切です。そして、様々な場面でつながったご縁を結
132 ぶことで、新たな仲間を迎えることができます。メンバー一人ひとりがつな
133 がりをもって会員拡大に取り組み、目標を持って率先して行動することが、光り
134 差す未来への一歩となります。また、メンバー一人ひとりが会員であることに
135 誇りを持ち、自信を持って浦安青年会議所を知人に勧めるためにも、メンバー
136 自身に「浦安青年会議所が好き」と思ってもらわなければなりません。誰であ
137 れ、自分が楽しいと思わない団体に人を勧誘したりはしませんし、拡大は誰か
138 がやってくれるだろうと他人任せになってしまいます。活動に参加すれば楽し
139 い事があり、この人達に逢えるなど、青年会議所メンバー同士の心の通った交
140 流が必要と考えます。メンバー同士の交流だけではなく、堅い信頼関係で結ば
141 れているOB・OGの皆様と交流の機会を創出し、当時の拡大の手法や、メン
142 バー同士の信頼関係構築の方法などのヒント得る事で、魅力ある組織へと進化
143 しなければなりません。

144 そして、品格ある青年経済人として絶えず物事に取り組み、絆をはぐくみな
145 がら成長を続ける魅力的な人間が多く所属する団体となり、しっかりと情報発
146 信し、アンテナを立て情報をキャッチすることで、まだ見ぬ仲間との縁がつな
147 がるはずです。これからも浦安市民から必要とされる団体であり続けるあるた
148 めに、メンバー一人ひとりが率先して行動しましょう。

149

150 【今求められるリーダーの育成】

151 2020年、新型コロナウイルス感染症（COVIT-19）の蔓延によ
152 り、世界はこれまでにない大きな危機を迎えることとなり、今まで当たり前だ
153 ったことが当たり前ではなくなり、人々の人生観や価値観が大きく変わろうと

154 しています。2011年の東日本大震災の時も、震災前と震災後で日本人の価
155 値観は大きく変わりました。震災前は都市化や単身化の進行、プライバシー重
156 視などで、地縁・血縁は希薄化していましたが、震災で改めて、家族との信頼
157 関係や、近隣住民とのふれあいを大切にしたい、「人と人とのつながり」への
158 意識が高まったと思います。浦安市においても震災の影響で液状化現象が発生
159 し、浦安市災害ボランティアセンターには延べ8,629人のボランティアの
160 方々が来所し、泥かきなどのボランティア活動を行い、多くの支援が集まる中
161 で、市民の中に、人との出会いや絆を大事にしたいという価値観もより一層高
162 まりました。

163 新型コロナウイルス感染症によるパンデミックが東日本大震災と大きく違う
164 のは、その状況が日本に限ったことではなく、既に、グローバル社会全体の危
165 機となっていることと、今後の見通しやその経済的・社会的インパクトが把握
166 できていないことにあります。現時点での危機の内容と規模から見て、東日本
167 大震災やリーマンショック以上のインパクトがあり、人生観や価値観だけでは
168 なく、生活スタイルにも大きな変化を及ぼす状況です。

169 価値観が変化する中で、重要になってくるのが、未来に導くために、信念を
170 持った揺らぐことのない決断をするリーダーの存在だと私は考えます。大小関
171 わらずこのような深刻な状況であっても必ずリーダーという名が存在し、その
172 リーダーの資質次第で、良きも悪きも組織の状況は大きく変化します。今回の
173 騒動でリーダーとしての資質が問われる事態に直面した人も多いかと思いま
174 す。実際に私も当時社内では目の前の諸問題への対応に追われてしまい、将来を
175 見据えて周りを導くことが出来たか疑問が残りました。

176 リーダーシップ論は時代ごとに変化していきました。古くは1940年代に
177 さかのぼり、生まれながら持つ特質であるという考え方が前提という時代か
178 ら、1980年代のカリスマ的リーダーシップ、現在ではサーバント・リーダ
179 ーシップなど、時代背景によって、変化してきました。

180 そしてこれから、今までの常識が大きく変化しつつある中、社会において一
181 人ひとりが活躍できるようリーダーのあるべき姿が変化してくると思います。
182 これから訪れる時代に即したリーダー像を見極め、アップデートし、時代を乗
183 り切るリーダーシップを身につけることが大切です。新たな問題が次々と持ち
184 上がる状況で、正解のない難しい決断や迅速な決断を迫られる場合があります
185 す。それは大企業や中小企業だけではなく、もっと身近で小さな組織でも存在
186 しえる状況であり、多くの方が一度は経験したことがあったのではないでしょ
187 うか。私は一番小さな組織は家族であると考えます。小さな組織のリーダーか
188 ら大きな組織のリーダーまで、リーダーと呼ばれるすべての人の資質を向上さ
189 せ、今後起こりえるどんな事態にも対応出来る力を兼ね備えることが、浦安を
190 守り、活性化につながることを信じ、メンバー一人ひとりが率先して行動しま
191 しょう。

192 そして2021年。浦安市においても、これからのリーダーを決める浦安市
193 長選挙が行われます。私たち青年会議所は、幅広い活動を通じて、より良い社

194 会を実現することを目的として運動を行う団体であります。その運動を市民と
195 共に展開していこうとする団体である以上、浦安市民にまちの未来を決める主
196 権者である事の意識を醸成していかなければなりません。新しい時代のリーダ
197 ーを選ぶこの機会に、率先して運動していきましょう。

198

199 【強くしなやかな青少年の育成】

200 日本の教育制度は、いかによい大学に入る学力をつけるかに重点が置かれて
201 いた、いわゆる「詰め込み教育」からはじまり、自ら考える力をつけ、ただ勉
202 強に追われるのではなく、ゆとりのある時間の中でさまざまな経験をして生き
203 る力を身につけていく「ゆとり教育」、現在では、生きる力をはぐくむ教育の
204 「脱ゆとり教育」など、時代背景に沿った学習指導要領の改訂が行われてきま
205 した。最近では生まれてから物心がつく頃にはインターネットやパソコン、ス
206 マートフォンといったIT製品が普及した環境に育ったデジタルネイティブ達
207 は人との出会い方やコミュニケーションも、ネット上で行うことに抵抗が少な
208 く、その反面に直接の対人関係が苦手な人が増えてきたのではないかと考えま
209 す。人と人との関係性を構築する機会が少ないと、人を好きになれず、自分
210 も好きになることが出来ない状況が、自己肯定感の低さとなって、現れてきま
211 す。

212 浦安市の現状は「浦安市教育ビジョン」にも記載されておりますが、子ども
213 たちや教育の課題については、「問題行動やいじめ」、「道徳心や規範意識の低
214 下」などがあげられており、また、どのような子どもになってほしいかについ
215 ては、「自分や他人のよさがわかり、他人を思いやる心を持っている」、「礼儀
216 正しく、正義感や公正さを重んじて判断し、行動している」などの割合が高く
217 なっていることから、他人を思いやり、豊かな心を身に付けるための心の育成
218 が求められております。

219 我々青年会議所も毎年違うテーマにて色々な形の「わんぱく相撲浦安場所」
220 を開催してまいりました。昨年は新型コロナウイルス感染症の蔓延により中止
221 となってしまいましたが、本年度は第32回「わんぱく相撲浦安場所」を開催
222 し、自己肯定感の育成、他人を思いやる心の育成に取り組んでまいります。心
223 豊かな青少年の育成には、勝負に勝った喜びや負けた悔しさを体験する機会が
224 必要であり、チャレンジして最後までやり遂げるたくましさや、勝負の厳しさ
225 で育まれた強い心が人を思いやる心の余裕につながります。

226

227 【むすびに】

228 浦安青年会議所は昨年設立40周年という大きな節目を迎えました。40年
229 という長い歴史は平坦ではなく、幾度もの困難が立ちはだかり、その都度人に
230 助けられ、支えられ、手を取り合いながら、襷をつないでこられました。この
231 未曾有の事態による大きな困難もメンバー一人ひとりが率先して行動すること
232 で、乗り越えて行かねばなりません。もう後ろは振り返らず、新たな時代を築

233 いていくための大きなヒントを得られたと前向きに考えながら、45周年に向
234 けた大きな一歩を踏み出しましょう。

235 今ここで私たちが運動することを止め、踏み出すことを躊躇ってしまったな
236 らば、この先永遠と後悔してしまうだろう。私たちには共に手を取り合う仲間
237 がいる。その仲間達と共にやり遂げてきたことに自身と誇りを持ち、覚悟を持
238 って光り差す明るい未来への突破口を開こう。今よりもなお求められ、必要と
239 される団体に生まれ変わり、明るい豊かな浦安の実現に向けて1年間誰よりも率
240 先して行動することを誓います。

241

242 信念は、行動に移さなければ価値がない
243 成果は過去の努力の結果であり、未来はこれからの努力で決まる
244 未来のために覚悟をもって

245

246

247 事業計画(案)

- 248 ・時代の変化に特化した組織運営の構築
- 249 ・組織力の向上へと繋がる研修事業の開催
- 250 ・意識高き青年経済人が集う拡大事業の開催
- 251 ・今求められるリーダーの育成を目的としたまちづくり事業の開催
- 252 ・強くしなやかな青少年育成事業の開催
- 253 ・15名以上の会員拡大
- 254 ・第32回わんぱく相撲浦安場所の開催
- 255 ・主権者意識醸成事業の展開
- 256 ・語り合うOB親睦例会の開催
- 257 ・各友好団体との連携・協力
- 258 ・公益社団法人日本青年会議所への積極的な支援・協力
- 259 ・公益社団法人日本青年会議所、関東地区協議会、千葉ブロック協議会の諸会
260 議・諸大会・諸事業への積極的な参加

261

262

263

264

265

266 第1回正副理事長予定者会議 2020年08月07日(金)

267

268 意見01:125行目「仲間だけの名ばかりではない」という文章に違和感を
269 覚えます。

270 対応01:「仲間と」に変更しました。

271

272

273 第1回次年度事業計画策定協議会 2020年08月20日(木)

274
275 意見01：9行目「生をあずかり」とあるが、あずかるは任されるという意味
276 なのであり、後ろの青年会議所～産声をあげと同じなので二重にな
277 っています。

278 対応01：「私はこの世に生まれ、今年で40歳を迎えます。浦安青年会議所
279 と同じ年を重ねてまいりました。」に修正しました。

280 意見02：「はぐくみ」がひらがなと漢字が混合しています。統一してどうで
281 しょうか。

282 対応02：すべてひらがなの「はぐくみ」に修正しました。

283 意見03：23行目の「訳」はひらがながいいかと思えます。

284 対応03：「わけ」に修正しました。

285 意見04：26行目「社会の経験」を「社会経験」がいいかと思えます。

286 対応04：「社会経験」に修正しました。

287 意見05：27行目「たくさんの方々」を「多くの方々」などが良いかと思え
288 ます。

289 対応05：「多くの方々」に修正しました。

290 意見06：「つながり」と「繋がり」で漢字とひらがなが混合しています。

291 対応06：ひらがなの「つながり」に修正しました。

292 意見07：29行目「普通にただ」は不要かと思えます。

293 対応07：「普通に」を削除しました。

294 意見08：14、30行目「体験できない経験」とあるが、似た意味合いの違
295 う言葉を重ねているので片方にした方が良くと思えます。

296 対応08：「普段経験することの出来ない」を削除しました。

297 意見09：36行目前文がひらがなののに、「より良く」と最後に漢字の「良
298 い」が入っているのに違和感があります。

299 対応09：「よりよく」に修正しました。

300 意見10：62行目「成長の機会をつかみ取りながら成長していきましょ
301 う。」と「成長」が続いているので言葉変えるといいかと思いま
302 す。

303 対応10：「誰にでも平等に与えられる成長の機会をつかみ取りましょ
304 う。」に修正しました。

305 意見11：64行目「どんな組織の中にも」の「中」は不要かと思えます。

306 対応11：「中」を削除しました。

307 意見12：85行目から87行目にかけて「新しい生活様式を余儀なくされま
308 した」の言い回しはどうでしょうか。

309 対応12：「新しい生活様式」に修正しました。

310 意見13：118、122行目「全メンバー」に違和感があります。そのあと
311 に、「メンバー一人ひとり」とあるが、こちらの方がいいかと思
312 います。

313 対応13：「メンバー一人ひとり」に統一しました。

314 意見 1 4 : 1 3 2 行目から 1 3 4 行目「～となり、～ことで」の後に「させま
315 しょう」は違和感を覚えます。ここは、「はずです」や「拡大に繋
316 ぎます。」など、ですます調になるかと思います。

317 対応 1 4 : 「しっかりと情報発信し、本気で拡大に取り組む事で、まだ見ぬ仲
318 間との縁がつながるはずです。」に修正しました。

319 意見 1 5 : 1 4 6 行目「ボランティア活動を行いただき」と誤字があるのと、
320 「人の出会い」は「人との出会い」の方がいいかと思います。

321 対応 1 5 : 「行い」と「人との出会い」に修正しました。

322 意見 1 6 : 1 6 1 行目「ここでコロナ禍を経て」とコロナが去った後の話にな
323 っているが上の文章と整合性が取れていますか。

324 対応 1 6 : 「コロナ禍を経て」を削除しました。

325 意見 1 7 : 1 8 7 行目「生まれてから物心がつく頃には I T 製品が普及した
326 環境に育ったデジタルネイティブ達」とあるが、言い回しがおかし
327 いと思います。

328 対応 1 7 : 修正せず、現行のままを進めます。

329 意見 1 8 : 2 1 9 行目のエクスクラメーションマークは禁止文字かと思いま
330 す。

331 対応 1 8 : エクスクラメーションマークを削除しました。

332 意見 1 9 : 2 3 3 行目「強くしなやかな心の青少年育成事業」とあるが、
333 「心」が不要ではないか。「心」を育成するではなく、青少年の育
334 成かと思います。

335 対応 1 9 : 「強くしなやかな青少年育成事業」に修正しました。

336

337

338 第 2 回正副理事長予定者会議 2 0 2 0 年 0 8 月 2 7 日 (木)

339

340 意見 0 1 : 市民ニーズの変化と記載があるが、もう少し細かく記載してくださ
341 い。

342 対応 0 1 : 「今までとは違ったアプローチの仕方が必須になってきます。」と修
343 正しました。

344 意見 0 2 : スローガンを真ん中に記載してください。

345 対応 0 2 : スローガンの位置を中央揃えに修正しました。

346 意見 0 3 : 自己肯定感の背景について、記載してください。

347 対応 0 3 : 自己肯定感の低さについて、記載しました。

348

349

350 第 2 回次年度事業計画策定協議会 2 0 2 0 年 0 9 月 0 2 日 (水)

351

352 意見 0 1 : 卒業式の事について所信に記載がないので、記載していただければ
353 幸いです。

354 対応01：1つの手法ではなく、交流の部分を読み取ってもらえればと思います
355 す。

356 意見02：49行目人口減少や少子高齢化も社会環境の変化になりますか。
357 対応02：人口減少や少子高齢化は社会環境の変化そのものと考えます。
358 意見03：57行目『「明るい豊かな浦安」を実現への道だと確信しております
359 す。』との言い回しはおかしいくはないか。

360 対応03：『「明るい豊かな浦安」へと変化していくと考えます。』と修正しま
361 した。

362 意見04：59行目と231行目の40周年記念に「設立」を追加してくださ
363 い。

364 対応04：「設立」を追記しました。

365 意見05：77行目の『他業種とのつながり』とあるが、ここ句点は必要か。
366 対応05：文章が長くなってしまうので、句点をいれて区切りました。
367 意見06：195行目「より良き」とあるが、「通常より良い」ではないか。
368 対応06：「より良い」に修正しました。

369 意見07：「さあ皆さん」などのメンバーに対する呼びかけが多いような気が
370 します。

371 対応07：「さあ皆さん」を削除しました。

372 意見08：57行目と75行目の「為」は「ため」とひらがなで統一したほう
373 がいいと思います。

374 対応08：「ため」に修正しました。

375 意見09：10行目から11行目を一文につなげたほうがいいと思います。
376 対応09：「今年で40歳を迎えます」を削除しました。

377 意見10：15行目の「日程で」に違和感があります。
378 対応10：「行程」に修正しました。

379 意見11：53行目当たり前では「なること」は誤字であり、「なくなるこ
380 と」が正しいと思います。

381 対応11：「なくなること」に修正しました。

382 意見12：56行目子どもたち「にへも」は誤字かと思います。
383 対応12：「子ども達にも」に修正しました。

384 意見13：56行目から58行目の「実現への道」ここの一文の意味がよくわ
385 かりません。

386 対応13：「運動をおこなっていくことこそが、「明るい豊かな浦安」へと変化
387 していくと考えます。」に修正しました。

388 意見14：71行目100%例会は目的ではないので、委員会方針ならいい
389 が、理事長所信にはどうかと感じます。前の段落の成長不足という
390 解決策になっているかも考えてほしいです。

391 対応14：70行目から71行目を削除し、「本業が忙しい傍ら、本気で汗を
392 かけて、熱い議論を重ね、切磋琢磨しながらメンバーと向き合うこ
393 とこそが、浦安青年会議所に入会している意味だと思います。」と
394 前文の成長不足の解消に向けた文章にしました。

395 意見 15 : 「どこまでも広がることのできる」とあるが、「誰とでもつながること
396 ができる」ではどうでしょうか。

397 対応 15 : 「誰とでもつながることができる」に修正しました。

398 意見 16 : 98行目から100行目「それぞれが」から「持っているので
399 す。」とあるが、この一文だけみて意味が理解できません。

400 対応 16 : 「それぞれが限られた時間の中で活動するには、今までと同じでは
401 なく、今までの運営方法を見直し、組織を進化させていかなければ
402 なりません。」と修正しました。

403 意見 17 : 104行目「生活様式」とあるが、「活動スタイル」等はどうか。

404 対応 17 : 「活動スタイル」に修正しました。

405 意見 18 : 114行目「なりがちになっています」は変な日本語です。

406 対応 18 : 「なってしまうところもあります」に修正しました。

407 意見 19 : 116行目から119行目まとめているところなので、「期日を守
408 る」という端的な文章にしてはどうか。

409 対応 19 : 「時間」に思い入れがあるので、現行でいかせていただきます。

410 意見 20 : 122行目から123行目仲間を募ることによる組織の拡大がとあ
411 るが、募ることでは拡大にならないと思います。

412 対応 20 : 「運動を共にする仲間を存在が必要不可欠であり、組織の拡大を成
413 功させ」に修正しました。

414 意見 21 : 124行目「やらなくてはならないこと」は拡大であれば、考える
415 までもないのではないか。

416 対応 21 : 拡大のためにやらなくてはならないことなので、現行でいかせてい
417 ただきます。

418 意見 22 : 129行目減少する要因は退会者が多いわけではないが表現が適切
419 か再考してください。

420 対応 22 : 「拡大が成功しない要因」に修正しました。

421 意見 23 : 131行目から132行目ですが、句点ではなく、読点のほうがい
422 いと思います。

423 対応 23 : 読点に修正しました。

424 意見 24 : 133行目「今ここで」から「存在する意味がありません。」とあ
425 るが、この文章はなくても前後がつながりますので、いらないの
426 では。単純に今年からV字回復するとかのほうがわかりやすいと感
427 じます。

428 対応 24 : ここでは危機感を共有したいので、「今年みんなで拡大を成功させ
429 なければ、近い将来、浦安青年会議所の存続に関わってきます。」
430 に修正しました。

431 意見 25 : 134行目「自分が所属する団体」とあるが、そのあとに「浦安青
432 年会議所」と答えがでてくるので違和感があります。

433 対応 25 : その後の意味が重複しているため「自分が所属する団体に対する想
434 いを語り」を削除しました。

435 意見 2 6 : 1 3 6 行目から 1 3 8 行目多くの手法を用いたり、情報交換、情報
436 共有で拡大の重要性を認識できますか。

437 対応 2 6 : 「メンバー一人ひとりが拡大の重要性を認識し、多くの手法を用い
438 るとともに」と修正しました。

439 意見 2 7 : 1 4 4 行目「できるためにも」は日本語として変です。

440 対応 2 7 : 「勧められるためにも」に修正しました。

441 意見 2 8 : 1 4 7 行目 O B との文章ですが、唐突感があります。

442 対応 2 8 : メンバー同士の交流の文章から、O B ・ O G との交流につなげまし
443 た。

444 意見 2 9 : 1 4 9 行目「今後の運動へと」とあるが「今後の運動への」だと思
445 います。

446 対応 2 9 : 文章変更のため、削除しました。

447 意見 3 0 : 1 6 3 行目から 1 6 4 行目「家族との信頼関係や近隣住民とのふれ
448 あい大切にしたいと」のようにまとめてはどうか。

449 対応 3 0 : 「家族との信頼関係や、近隣住民とのふれあいを大切にしたい」に
450 修正しました。

451 意見 3 1 : 1 7 5 行目「ないでしょうか。」とあるが、言い切ってはどうか。

452 対応 3 1 : 「です。」に修正しました。

453 意見 3 2 : 1 8 0 行目「現に進行する問題」を「諸問題」などはどうか。目先
454 の問題とかのほうわかりやすい。

455 対応 3 2 : 「諸問題」に修正しました。

456 意見 3 3 : 1 8 1 行目「先々を見据えた視点での職務を全うして」の意味がよ
457 くわかりません。将来を見据えて導くのではないか。

458 対応 3 3 : 「将来を見据えて導くこと」と修正しました。

459 意見 3 4 : 1 8 7 行目から 1 8 9 行目「家族も組織」と 2 回言っている。

460 対応 3 4 : 「その中にも」に修正しました。

461 意見 3 5 : 1 9 8 行目まちの未来を決める当事者意識は端的に言うとなんでし
462 ょうか。主権者意識と何が違うのでしょうか。

463 対応 3 5 : 主権者意識とは政治意識の高揚ととらえ、当事者意識とはまちの未
464 来を決めることに自分も関わっているという、別の意味をもった認
465 識です。

466 意見 3 6 : 2 0 7 行目生まれてからはいるか。インターネットは I T 技術か。
467 「物心がつく頃からパソコンや」とつなげてはどうか。

468 対応 3 6 : インターネットと I T は別物と認識し、「をはじめとした I T 技
469 術」を削除しました。

470 意見 3 7 : 2 2 1 行目浦安青年会議所もとあるが、コミュニティについて前段
471 落で触れているか。そもそも時代に即したコミュニティの形成を狙
472 いとしているのか。

473 対応 3 7 : 「時代に即したコミュニティの形成を狙いとしつつ」を削除し、
474 「心豊かな青少年の育成」を基本とし、毎年違うテーマにて色々な
475 形の」に修正しました。

476 意見38：224行目「第32回となる」を第32回「わんぱく相撲浦安場
477 所」でいいと思います。または、「32回目となる」とか。
478 対応38：「となる」を削除しました。
479 意見39：236行目の次の周年を45周年（50周年）と記載したほうが、
480 理事長がどれくらいの将来をイメージしているのかわかるので、45
481 か50か決めてください。
482 対応39：45周年と記載しました。

483

484

485 第3回正副理事長予定者会議 2020年09月10日（木）

486

487 意見01：特になし

488 対応01：－

489

490

491 第3回次年度事業計画策定協議会 2020年09月17日（木）

492

493 意見01：各委員会に与えているテーマを教えてください。

494 対応01：所信の各委員会毎の冒頭に記載している通りです。

495 意見02：青少年部分に違和感を感じます。「強くしなやかな青少年の育成」
496 ために「自己肯定感」を養い、柔軟性のある青少年として「しなや
497 か」さをもちあわせる青少年を、本当にわんぱくなどで生み出せる
498 のか、どのように生み出せるのかが不安です。

499 対応02：あくまでわんぱくだけではなく、2事業行った結果、強いだけでは
500 なく、しなやかさをもった青少年になってもらえればと考えており
501 ます。自己肯定感はいろいろな見解がありますが、「強く」のなか
502 に、自己肯定感を含んでおります。自分を認める事で相手の事も認
503 める強さ

504 意見03：青少年のところやまちづくりの部分が事業の順番と内容の順番が違
505 ったりしているので、最後にまとめたような内容があると読み解き
506 やすいのではないか。

507 対応03：青少年については1つの問題として背景でとらえているので、順番
508 関係無いと考えます。まちづくりは、主権者以外順番通りですが、
509 主権者意識醸成事業については特殊であるため、この順番が好まし
510 いと考えますので、現行のままで進めます。

511 意見04：事業計画の部分に当事者意識などと細かく書いてあるが、細かくな
512 り過ぎている気がします。具体的過ぎて大丈夫か心配です。

513 対応04：主権者意識醸成事業の展開に修正しました。

514

515

516 第4回正副理事長予定者会議 2020年09月29日（火）

517

518 意見01：42行目 主語があったほうがいいのでは。

519 対応01：「浦安は」を追記しました。

520 意見02：65行目 2021年度を本年度にするか、削除はどうでしょう
521 か。

522 対応02：2021年度を削除しました。

523 意見03：「勧められるためにも」を「勧めるためにも」ではどうでしょう
524 か。

525 対応03：「勧めるためにも」に修正しました。

526 意見04：210行目 「すくない」を「少ない」と、漢字のほうがいいか
527 と思います。

528 対応04：「少ない」に修正しました。

529

530

531 第4回次年度事業計画策定協議会 2020年10月06日（火）

532

533 意見01：

534 対応01：

535 意見02：

536 対応02：

537 意見03：

538 対応03：